

高速信号処理応用技術学会への投稿案内

投稿規則

(1) 投稿者の資格

投稿者は原則として本会会員ならびに本会会員を含むグループに限る。しかし、本会に寄与する卓越した論文（英文論文をも含む）であれば会員以外の投稿も受け付ける。

(2) 著作権・出版件

高速信号処理応用技術学会に掲載される論文等の著作権は原則として、著者に帰属するものとする。ただし、著者は研究者の良識と自己責任とを自覚し、複数の公開出版物に同一内容の論文等を投稿しないことを申告する。掲載された論文をそのまま他の著作物に転載する場合には、本会に申し出ること。

(3) 用語

本文は日本語または英語に限る。

(4) 投稿の種別

論文 (Paper)、事例論文 (Technical Article) のほか編集委員会で適当と認めた記事を受け付ける。

(5) 原稿仕様

論文等の原稿は、論文そのものと論文要旨からなる。論文等は日本語並びに英語でも可であるが、論文要旨は日本語に限る。論文要旨は論文とは別に掲載される。

- (a) MS-Word で作成して下さい。カメラレディ原稿で提出して下さい。原稿サイズはA4版で2段組。各ページとも上、下、右、左の各インデントはそれぞれ、35mm, 25mm 12mm, 12mm、また、段の間隔は1cmです。

- (b) トップページについて（日本語の場合）

第1行：論文タイトル(40文字以内)、16ポイント、MSゴシック、センタリング

第3行：著者、連名者氏名（所属）、12ポイント、MSゴシック、センタリング

第5行：英文タイトル、14ポイント、Times New Roman、センタリング

第6行：英文著者、連名者氏名（所属）、12ポイント Times New Roman、センタリング

一行空けて、日本語キーワード(5つまで)：10.5ポイント、MSゴシック、センタリング

- (c) トップページ本文、2ページ以降について

本文活字の大きさは10～10.5ポイントでシングルスペース、1ページの文字数は26字*45行*2段

=

2340文字。図・表は内容によって異なりますが、目安として、4点から6点で1ページと考えて下さい。

- (d) トップページについて(英語の場合)

タイトル(16ポイント)、ダブルスペースの下に著者名(12ポイント) 所属(10ポイント)さらにダブルスペース2ポイント) 所属(10ポイント) さらにダブルスペース下に abstract(10ポイント、シングルスペース)、ダブルスペース下から本文(9または10ポイント、シングルスペース)、各章題には番号を振り、太字とし、上下1行スペースを設ける。また、フォントはTimesが標準。本文とは別に1000字程度の抄訳が必要。

- (e) 表題：40字以内（日本語のみ）。

- (f) キーワード：5つ以内で表す。

- (g) 図表、写真：図、表、写真は本文に挿入。

- (h) 日本語、英語論文に関わらず、本文とは別に500字程度の日本語の論文要旨が必要。できるかぎり調整を願います。

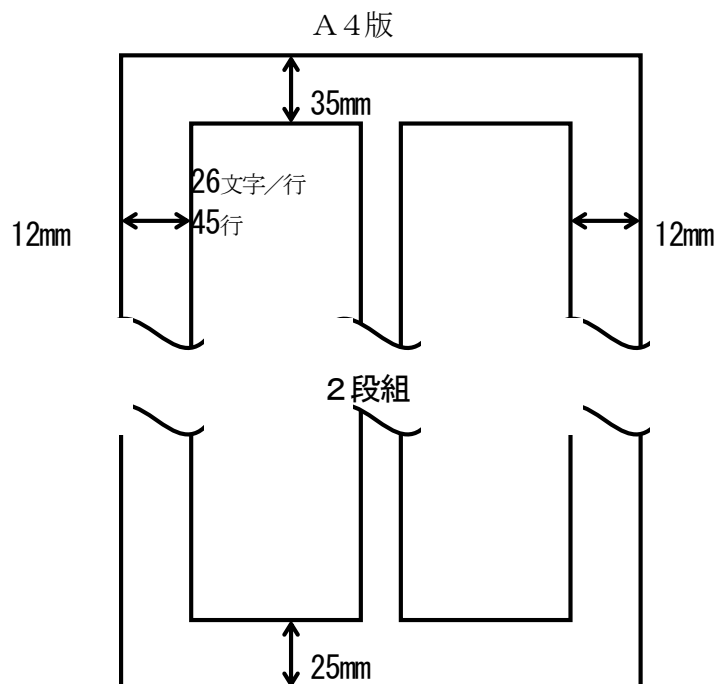
(6) 投稿時添付資料

論文（日本語、または英語）などを投稿される際には、査読または校閲のため以下のものをご送付下さい。

- (a) 投稿票 3部
 (b) 論文原稿 3部（論文原稿データ構成：PDF ファイル 用紙サイズ：A4）
 (c) 論文要旨 3部（原稿用紙サイズ：A4）、500字、日本語に限る。

論文は原則として2名の査読者により査読される。査読期間は原則として1ヶ月程度。

<投稿フォーマット>



(7) 論文 (Paper) の要件

高速信号処理の学術または応用技術に寄与するもので、本会への投稿前に他の公開出版物に投稿されていないことおよび”論文等査読基準”に準拠して次の、内容 (a) ~ (g) の2つ以上に亘り要件を満たし、かつ表現 (h) ~ (k) を満たすものとする。

★ 内容

- (a) 重要な課題を包含している
- (b) 新規性があり創造的である
- (c) 客観性がある
- (d) 実用性がある
- (e) 文献引用性がある
- (f) 科学的論理性がある

★ 表現

- (g) 過去の研究を検討している
- (h) 問題点を整理している
- (i) 明白かつ簡潔である
- (j) 図表がわかりやすい
- (k) 用語が適切である

(8) 事例論文 (Technical Article) の要件

本会への投稿前に他の公開出版物に投稿されていない事例論文であり、次の各項のいずれかに該当するものである。事例論文は、次の (a)、(b) の2項を満たすものであり、さらに次の (c) ~ (f) の4項を満たすものとする。事例論文として掲載の後さらに、論文 (Paper) として投稿の推薦を受けることもある。

- (a) 製品の一部または全体に関わる応用技術の紹介
- (b) 特許公開、独創性、新規性、実用性、性能評価などいずれかの主張がある
- (c) 図表がわかりやすい
- (d) 問題提起や技術発想から解決または技術実現に至るプロセスや独創的工夫などが整理され

ている

- (e) 従来技術との比較評価、得失、相違点などが明確である
- (f) 本文は明白かつ簡潔で、あやまりがなく、用語が適切である

(9) 投稿論文等の査読・判定

投稿論文および事例論文は、2名以上の論文査読委員が査読し、その報告に基づいて、論文委員会で次のいずれかに判定し、学会誌掲載の可否とその内容を投稿者に通知する。

- (a) 掲載可（そのまま掲載、編集上の小さな修正を含む）
- (b) 条件付き掲載（筆者に修正を求めた上掲載）
- (c) 照会后判定（筆者に照会して解答を求めた上で採否を決定）
- (d) 掲載不可

(10) 投稿〆切り日

原則として毎月1日。

ただし、依頼論文に関しては、以下のように定める。

論文投稿締切：発行月4ヶ月前の末日まで（具体的な締切日は論文委員会で定める。）

(11) 論文の掲載が決定後、以下のものを提出していただきます。

(i) 日本語原稿の場合

- (a) 提出論文原稿 1部（用紙サイズ：A4）
- (b) 論文要旨（訂正がある場合） 1部
- (c) CD-R（本文および論文要旨） 1部MS-Word（**TeX**不可）
- (d) 著者略歴とその写真 本文の最終ページに挿入

(ii) 英語原稿の場合

日本語原稿と同様の書類 (a) ~ (d)の他に

- (e) 抄訳（1000字程度） 1部（用紙サイズ：A4）

(12) 発行日

学会誌は年2回発行される。

発行月は原則として以下の通りである。

6月号、12月号

(13) 掲載料および別刷（別刷は希望者のみ）

（2014年11月改定）

- (a) 会員：論文および事例論文（ページ数の上限なし） 1ページ 10,000円
- (b) 非会員：論文および事例論文（ページ数の上限なし） 1ページ 20,000円

別刷料金（消費税込） 単位:円

	50部	100部
6頁まで	22,000	44,000
7頁以上 1頁につき	1,000増	1,000増

別刷をご希望の方は部数の箇所を○で囲んでください。

原稿提出先（問い合わせ先）

高速信号処理応用技術学会編集部

〒213-0001 神奈川県川崎市高津区溝口3-24-7 ジャポニール1階

Tel : 090-4628-3886

E-mail : info@sapatj.jp

URL : <http://www.sapatj.jp>